

職 (二) 行 処遇 改善 統一行動

他省庁にくらべ低い昇格水準 死活問題の超勤手当カット



退職者の後補充なしで 働ける職場 わがなくなる

昭和58年、政府が「行(二)職員の採用は公務遂行上真にやむを得ない場合を除き、原則行わない」ことを閣議決定して以降、最高時6万6千人いた行(二)職員は10分の1以下に減少。退職者の後補充を行わず、業務の民間委託・外注化が進み、「一人職場」が急増しています(下表)。

他省庁でも続出の「一人職場」

専門技能と経験を備えた行(二)職員は、業務の遂行上不可欠な役割を發揮しており、こうした状況を放置し続けるなら、行政の継続・安定性を損ない、行政サービスの低下をもたらしかねません。

■技能・労務職員の在職状況■
(正規職員・委託職員の増減推移)

年度	正規職員	業務委託職員	
		技能職員	労務職員
1997	20,098	3,825	4,885
2000	16,856	4,110	4,558
2003	12,279	4,019	3,083
2004	6,210	1,775	1,067
2005	5,801	1,588	972
2006	5,498	1,455	822

※04年度は国立病院等が独立法人化され、正規・委託職員とも激減したもの(総務省統計)

「部下数緩和」で立ち遅れる国税庁

定員削減が強行される中、国税の職場はもとより、他省庁でも「一人職

のキーポイント」は、部

は、業務委託職員の部下

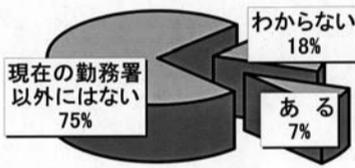
的に取り上げ、超勤

に死活問題です。

の支給はない」「休憩や

るよう求めます。

希望できる配転先は



「職務給原則」を文

手・交換手の5級発令を

「昼休みも食事をしな

れを撤回した小沢代表



左から大平さん(日立分会)、鎌田さん(丸亀分会)、中村さん(東松山分会)、写真は今年6月の国税庁交渉

交換手さんの声

◇署への入り口の仕事である交換業務は、昔に比べ感情的な納税者も増え、ストレスは倍増。
◇確申期の派遣社員採用時に十分研修をしてもらわないと、交換手に負担がかかる。採用時期も前倒しにしてもらいたい。
◇職員数・受信数等で配置してきたが、今は1人が退職すれば即定員減にしており、事務量から必要な人員は確保すべき。
◇サービス向上が聞いてあきれられる。どんどん増える電話や職員に、人数を少なくしてサービスしろはおかしい。
◇若い直接の上司との心の隔たりがある。そのことでストレスを感じないようなコミュニケーションを図るよう署幹部は指示してほしい。
◇本来、総務課長や補佐から受ける連絡事項も会計長に一任。交換室の巡回もほとんどない。
◇署の幹部のスケジュールを交換手にも周知してほしい。
◇下の号俸者が先に昇格している。なんで差がつくのかわからない、全然動きも見えない。

運転手さんの声

◇必要のないところに金と労力をかけすぎ。目先ばかり考え、保身に懸命の上役ばかりである。
◇署長送迎など仕事を取り上げられ、総務の雑用ばかり。一日何をやっているのか分からない。
◇総務課長・統括官の送迎や郵便局の集配などを行っているが、運転計画をもっと早く知らせてもらいたい。それにしても、総務の職員は忙しすぎ。
◇仕事をさせない方向にもっていかれ、居づらくされているようだ。
◇行(二)職員が誰もいなくなり、総務らしい総務でなくなった税務署の姿を見たいと思う。

用務員さんの声

◇部下数など完全撤廃し、すべての行(二)職員を運転手なみの給与にしてもらいたい。
◇総務が外部委託業者の管理監督を行うため、不備があっても見過ごしがち。日常的な管理を私たちに任せてもらえないだろうか。
◇低価格で入札するため、外注業者の仕事は年々雑になっている。ただ、外注の人入札の関係で私たちの6割位の賃金しかもらっていないとこぼしている。無理な値下げは酷な話だ。
◇昔からずっと秘密主義が続いており、急に「何処どこをこうして」と言われ戸惑うことがある。
◇給与条件とあわせネーミングを考えてもらいたい。(局も個人も)損得のないものだからすぐ実行してもらいたい。とにかく用務員という名を変えてほしい。

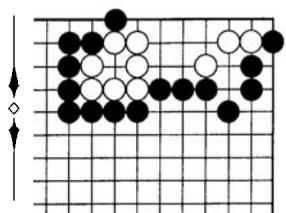
あなたの署はどんなタイプ



2年前、当時の東京局長は「『昼休み時間』という表現は全ての業務を行っていないかのような表現で好ましくない」と難クセをつけ、写真の掲示から昼休みという文言を削らせようしました。そのこともあって、写真のような掲示をしている署はごく少数で、多くの署は「12時15分から13時までには職員の仕事時間となし、その間は、職員が休む時間です」という掲示に変えてきています。ひどい署は「申告書の提出などのご用件がある方は、総務課までおいでください」との掲示しかしていない状況です。さて、あなたの署の掲示は「どのタイプ」になっていますか。

詰碁

〈出題〉九段 石榑育郎
中級クラス
〈ヒント〉
三手目の好手で白を仕留めず。



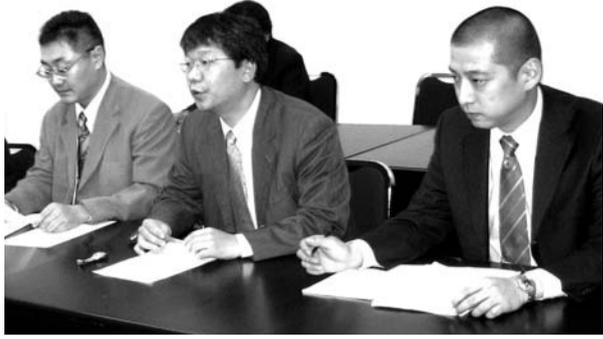
そちばん弾

密室で「大連立」を進めたかと思えば、身内の反発に辞表提出。それを撤回した小沢代表。民意を私物化した一連の騒動だった▼「自民党の王手飛車取り。王(大連立)は逃しても、飛車(民主党の混乱)は取った」と、ほくそ笑む自民党関係者。「二大政党論」も、福田派が田中派の連立を望む。いざという時束ねられる」と、次の一手を「ぶやく」や「やっぱり」アメリカからの圧力に抗しきれなかったら「大連立」も結局、自民党が盛り返すことは、過去の細川・村山政権でも経験済み。国民世論で「大連立」は頓挫したが、自民党と民主党の間で対立軸がはっきりした「二大政党」というのは果たして成り立つのか。

11・12 青年部交渉

責任を持って若手育成を

全国税青年部は11月12日、国税庁と交渉を行いました。交渉には、木村青年部長、藤平青年対策部長をはじめ6名が参加。国税庁は、酒井総務課長補佐が対応しました。



左から高橋さん(長岡分会)、木村青年部長、田山さん(品川分会)

ると抗議しました。さらに、若手と指導上席の件数減も含めた、OJTの充実を強く求めました。また、職場でパワハラが顕著になっていることを具体例も示して指摘。8年ほど前、セクハラについて当局が強い問題意識を持ち、啓蒙したこともあり、現在では随分認識が深まっていることを例えに、パワハラについて

交渉では、調査件数増や内部事務一元化試行に伴い、職場にゆとりがなくなっているなかで、当局の責任において若手の育成が充分に行われていないことを指摘。その中で、青年部での分断発令に固執し続けていくことが責任放棄となっていく

また、職場でパワハラが顕著になっていることが頭蓋になっていくことを具体例も示して指摘。8年ほど前、セクハラについて当局が強い問題意識を持ち、啓蒙したこともあり、現在では随分認識が深まっていることを例えに、パワハラについて

全国税に加入して、職場が変わる。職場のオアシス全国税。あなたの加入で職場は変わる。zenkokuzei@aol.com www.kokko-net.org/zenkokuzei

全国税労働組合

ホントは、あなたへ... 入ったら安心できる組合。安心して入れる組合。仕事覚えたいけれど、内容の濃い仕事したい、何をすればいい? 全国税に加入しよう!

実効ある均等法へ展望示せ

改正均等法「基本方針」を読み解く

厚労省の労働政策審議会は、今年4月施行された改正均等法(男女雇用機会均等法)に基づいて、今後5年間の国の施策を示す「基本方針」を決めました。基本方針は「なお実質的な機会均等が確保されたとはいえない」「改善の動きには鈍化がみられる」と厳しく指摘。今後の方向として「実質上の機会均等の確保」を掲げ、法の履行確保と、女性が働き続けられる条件整備、「仕事と生活の調和」などを強調しています。

北から南へ。総務「「奉公」交流」「服役」北海道地連。超勤週間。近畿・東大阪支部。独自に17時45分で残業調査。10月1日は、42名。3日は14名。5日は18名。超勤縮減週間の実態です(八尾)。その後、各署は超勤週間? 幹部の声かけはありますか? 副署長、ルート。北海道・札幌北分会。朝早くから5時過ぎまで統括が副署長とペアでe-Taxの利用奨励で6件廻って帰ってきました。飲み会でもこの話。利用奨励のルートは副署長が決めよう。1日200キロを超える車両走行事ができれば...

詰碁。解答 黒1から3と打つのが好手段。白4に黒5で白死です。黒1で3は白1で白生き。また黒3で白5黒4白3以下、白生きです。